

福祉サービス第三者評価項目（障害福祉サービス）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目		項目		
障害者・児施設	1 利用者の尊重	(1) 利用者の尊重	1	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	B	
			2	利用者の主体的な活動を尊重している。	A	
			3	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	A	
			4	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	C	
	2 日常生活支援	(1) 食事	(1) 食事	5	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	C
				6	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	B
				7	喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	B
		(2) 入浴	(2) 入浴	8	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	/
				9	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	/
				10	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	/
		(3) 排泄	(3) 排泄	11	排泄介助は快適に行われている。	B
				12	トイレは清潔で快適である。	A
		(4) 衣服	(4) 衣服	13	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	/
				14	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	A
		(5) 理容・美容	(5) 理容・美容	15	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	A
				16	理髪店や美容院の利用について配慮している。	A
		(6) 睡眠	(6) 睡眠	17	安眠できるように配慮している。	/
		(7) 健康管理	(7) 健康管理	18	日常の健康管理は適切である。	A
				19	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	A
				20	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	A
		(8) 余暇・レクリエーション	(8) 余暇・レクリエーション	21	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	A
		(9) 外出、外泊	(9) 外出、外泊	22	外出・外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	/
		(10) 所持金・預り金の管理等	(10) 所持金・預り金の管理等	23	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	A
				24	新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	B
	25			嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。	/	

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 **聖家族作業所** (生活介護)

評価基準	項目番号	自己評価		評点	コメント
障害福祉サービス					
- 1 利用者の尊重					
- 1 - ( 1 ) 利用者の尊重					
- 1 - ( 1 ) - コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	1	<b>b</b>	写真なども使用しているが、不十分。	<b>B</b>	写真等を利用してコミュニケーションに活用しているが、利用者全体に対して画一的になってしまっている。利用者により意思伝達の方法はさまざまと思われる。個別のコミュニケーション手段の検討とそれに基づく支援が必要と思われる。
- 1 - ( 1 ) - 利用者の主体的な活動を尊重している。	2	<b>a</b>	基本的に尊重している。	<b>A</b>	利用者の主体的な活動を支援するために各班ごとに担当職員が配置されている。利用者の主体的な活動については、個別に何をやりたいか聞き取り、その意向を尊重しながら職員は側面的に支援を行っている。
- 1 - ( 2 ) - 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	3	<b>b</b>	事故や怪我がないように支援を行っている。	<b>A</b>	利用者の自力で行う日常行為能力は人それぞれで、職員は利用者に合わせて見守りの姿勢を保ち、手を出しすぎないが危険を察知した時は迅速に対応できるように常に目配せしながら支援を行っている。このことを会議等で確認し合う仕組みがあればよりいっそう明確な支援体制が整うものと思われる。
- 1 - ( 2 ) - 利用者のエンパワメント(力をつけること)の理念にもとづくプログラムがある。	4	<b>c</b>	プログラムとして整備していない。	<b>C</b>	この事業所の特徴として、学習・訓練プログラムといった個別の能力を引き出そうとする支援よりは、利用者同士が集まり好きなことをのんびり行っていこうとする、いわば楽しみを追求するような場の提供でありたいと考えている。その中で求められれば利用者自身が意識を高められるように情報や資料の提供も行っている。ただ、「聖家族作業所」のパンフレットには一部エンパワメントを発揮できる環境づくりのことをうたっており、事業所の特徴がぼやけてしまっている。今後どのような事業所の特徴を踏まえながらサービスを行っていくのか組織として確立したものを持つことが促される。

評価基準		自己評価		評点	コメント
- 2 日常生活支援					
- 2 - (1) 食事					
- 2 - (1) - サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	5	c	外注のため、用意していない。	C	サービス開始時にアセスメントで食事の嗜好を聞き取る が、実際には全員同じメニューの、外部業者からの仕出し弁当を提供している。以前は法人で運営している喫茶で料理した昼食を提供していたが、食費が自費となつてからは、利用者負担を配慮し、より安い仕出し弁当に変更して現在に至っている。
- 2 - (1) - 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	6	c	同上	B	メニューは1か月分があらかじめ張り出されているが、業者の仕出し弁当のため、どうしても冷めてしまい量や味付けが画一的になってしまう。形状的に飲み込みが困難な利用者には、職員があらかじめ細かく刻んで食べやすい形状にして提供している。食事介助が必要な利用者は職員と一緒に並び、他の利用者と共に食事を楽しんでいる。
- 2 - (1) - 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	7	b	配慮しているが、環境整備に不備が見受けられる。	B	食事時間になると、役割のある利用者は、おしぼりを用意する、お茶を入れる等、自発的に準備を始める。食事場所も、食堂、作業班など、自分の好きな所を選ぶことが出来る。後片付けも自発的に行い、自由な雰囲気を感じられた。食堂が手狭なため、今後は、改装した木工班の作業棟で食事をすることを検討しており、実現が望まれる。
- 2 - (2) 入浴					
- 2 - (2) - 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	8	対象外			
- 2 - (2) - 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	9	対象外			

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - ( 2 ) - 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	10	対象外		
- 2 - ( 3 ) 排泄				
- 2 - ( 3 ) - 排泄介助は快適に行われている。	11	b 快適ではあるが、トイレ数に問題あり。	B	同性介助の配慮がされているが、人数に対してトイレ数が少ない。利用者が増えてきていることでの環境整備が追いついていないのが現状となっている。今年度は別棟の整備が整ったので今後利用者を分け、職員も増員してきめ細かい支援を行おうと準備中である。
- 2 - ( 3 ) - トイレは清潔で快適である。	12	a 問題なし。	A	トイレは男性用と女性用に分かれており、車椅子用も含めて掃除が行き届いている。
- 2 - ( 4 ) 衣服				
- 2 - ( 4 ) - 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	13	対象外		
- 2 - ( 4 ) - 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	14	a 適宜、対応している。	A	衣類を着替えたい利用者にはロッカールームを用意しており、その意思を尊重している。唾液で胸元が汚れる利用者にはタオル地のナプキンを作って対応している。
- 2 - ( 5 ) 理容・美容				
- 2 - ( 5 ) - 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	15	a 事前に希望を取り行っている。	A	利用者の個性を尊重している。理容希望者は事前に希望を取っている。

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - ( 5 ) - 理髪店や美容院の利用について配慮している。	16	<b>b</b> 出張理容・美容を行っている。	A	月に1回出張理容を取り入れている。個人で理髪店へ行くことが困難な利用者もあり、家族からも喜ばれている。
- 2 - ( 6 ) 睡眠				
- 2 - ( 6 ) - 安眠できるように配慮している。	17			
- 2 - ( 7 ) 健康管理				
- 2 - ( 7 ) - 日常の健康管理は適切である。	18	<b>a</b> 保健計画に基づき行われている。	A	来所時、利用者全員に検温を実施し、その日の体調を確認している。異変の早期発見・予防への意識は高く、インフルエンザ流行期にはマスク着用の敢行と日頃から必要な情報を家族に提供し、注意の呼びかけを行った。また、月に1回体重・血圧を測定し、家族と情報の共有を図っている。測定記録は一覧表としてまとめ、現状の把握に努めている。
- 2 - ( 7 ) - 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	19	<b>b</b> 緊急時は、救急病院を利用するが、基本的には受診は家族へ依頼する。	A	個別のアセスメントにおいてかかりつけの医療機関は把握しているが、基本的には緊急時以外は家族に対応してもらっている。施設内には静養室が備えられていて、いつでも休めるようになっており、看護師も職員として配置されている。
- 2 - ( 7 ) - 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	20	<b>a</b> チェック表を用いて管理している。	A	来所時にすぐ、持参された薬を施設内で預かりチェック表を用いて管理を行っている。このシステムにより薬の持参忘れがすみやかにわかるようになっている。
- 2 - ( 8 ) 余暇・レクリエーション				
- 2 - ( 8 ) - 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	21	<b>a</b> 作業所会議や班会議の中で意見を募集し、希望を優先し行っている。	A	利用者の希望を一番に考え、意見を募集している。レストランへ行き、デザートを食べることは利用者の楽しみの一つとなっている。今後課題の一つとなっている運動不足・肥満解消に向け、スポーツや散歩の充実を図る予定になっている。

評価基準		自己評価	評点	コメント
- 2 - ( 9 ) 外出、外泊				
- 2 - ( 9 ) - 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	22	対象外		
- 2 - ( 10 ) 所持金・預かり金の管理等				
- 2 - ( 10 ) - 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	23	a 規定に基づき行っている。	A	預かり金については重要事項説明書に書かれているとおり、管理責任者を定めて責任の所在を明確にしている。金銭の自己管理できる利用者については保管場所の提供があり、自己管理に向けた支援を行っている。
- 2 - ( 10 ) - 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	24	b 基本的には自由であるが、新聞は取っていない。	B	利用者が自己所有の雑誌等を持ち込むことは自由となっているが、施設が新聞・雑誌等を取っているわけではなく、テレビも自由にチャンネルを変えられるようにはなっていない。
- 2 - ( 10 ) - 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	25	現在、対象となる利用者は不在。		たばこを吸う場合には喫煙場所を設け対処するが、現在対象となる利用者はいない。